

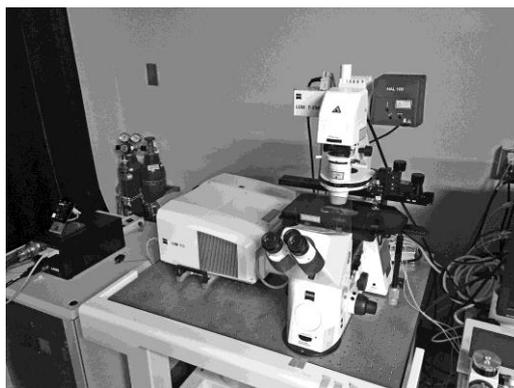
5 共焦点レーザー顕微鏡 LSM710

| | |
|-------|----------------------|
| 管理講座 | 薬理学講座 |
| 設置場所 | 楠元3階 検査部門実験室4 (5305) |
| 管理責任者 | 兒玉 大介 |
| 電話番号 | 内線 71-1339 |

| | 設備 | 製造会社 | 規格 |
|------|------------|------------|--------|
| 設備内容 | 共焦点レーザー顕微鏡 | Carl Zeiss | LSM710 |

機器の概要

本装置は共焦点レーザーシステムおよび34基のスペクトル検出器による高い分光検出機能を備えており、多重標識した標本から高解像度の3次元蛍光画像の取得が可能である。また炭酸ガス濃度および湿度を維持しながら培養するための装置、焦点面を自動補正する装置も備えており、長時間の経時観察をすることも可能である。なお、励起光としては405 nm(Blue Diode)、458, 488, 514 nm (Ar)、561 nm (DPSS)、633 nm (HeNe) が使用可能である。また落射蛍光観察用に水銀ランプも搭載している。対物レンズは5倍、10倍、20倍、40倍(水浸)、40倍(油浸)、63倍(油浸)を搭載している。



使用上の注意

レーザー光源、水銀ランプは消耗品であり、不必要な点灯は避けること。機器の使用については原則、予約制であり、あらかじめ機器に備え付けの予約簿に記載する、あるいは管理責任者に連絡すること。また使用後は備え付けのログブックに必要事項を必ず記入すること。内臓HDDに限りがあるため、解析したデータについては随時外部メディアに移すこと。